

都市再生整備計画 事後評価シート
米田地区

平成29年3月

兵庫県高砂市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	高砂市	地区名	米田地区(地方都市リノベーション事業)			面積	129.1 ha					
交付期間	平成24年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	1,637百万円	国費率	0.499							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 今市・生石準幹線道路整備事業(道路/地方都市リノベーション事業)、高砂市新図書館建設事業(地方都市リノベーション推進施設)、米田多目的広場整備事業(地域生活基盤施設/地方都市リノベーション事業)											
		提案事業	なし											
		事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響									
	当初計画から削除した事業	基幹事業												
		提案事業												
	新たに追加した事業	基幹事業												
提案事業														
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成27年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		影響なし									
	変更	-												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度		目標年度									
	指標1	図書館の図書貸出者数	人/年	27,600人/年	H23	60,000人/年	H28	モニタリング	評価値	177,905人/年	○	あり なし	スペースの増加によって蔵書数が増えた。また、読書スペースや多目的利用のスペースの充実を図った。その結果、生涯学習や地域活動に対する支援機能の向上に繋がった。加えて、指定管理者制度の活用によって、開館日・開館時間が増加した。これらのことから、利用者が増加したと考えられる。	平成29年4月頃
	指標2	子育て支援センターでの絵本読み聞かせ等実施回数	回/年	0回/年	H23	12回/年	H28			12回/年	○	あり なし	「すこやかグループ」という別事業でも絵本の読み聞かせ会を開始した。その参加者数は年々増加していることから、絵本の読み聞かせ会は潜在的な需要が高かったと推察される。	平成29年4月頃
	指標3	米田多目的広場の利用者数	人/年	5,000人/年	H23	7,500人/年	H28			13,762人/年	○	あり なし	広場の縮小にあたり各老人クラブが話し合ったことで、高齢者の利用頻度が変わらなかった。また、老人クラブと他団体との利用時間の分化が徹底されたことで、他団体の休日利用がしやすくなった。これらのことから、利用者数が増えたと考えられる。	なし
指標4											あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度		目標年度									
	その他の数値指標1	なし												
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	<p>・教育文化の拠点としての新図書館を整備した。それに伴い、読み聞かせボランティア育成講座や「配架整理・本の修理の育成講座」、「播磨学講座」を開設し、生涯学習の機会増大に努めている。また、図書館の管理が指定管理者制度によって民間化することで、開館日が増加し、開館時間も長くなった。これらのことにより、図書館の利便性が向上したと考えられる。</p> <p>・米田多目的広場は図書館の整備により面積が減少した。だが、主要な利用団体が話し合い利用時間の調整を行ったため、利用者が減少することはなかった。また、この話し合いにより時間帯に複数の団体による使用がなくなり安全面が向上したこと、リニューアルに伴い駐車場や休憩スペースが整備されたことにより利便性が向上した。</p>													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

米田地区(兵庫県高砂市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
【教育文化・スポーツ拠点の整備、充実による活力あるまちづくり】 ・図書館を核とした、市民の教育文化、教養、生活など生涯にわたる学習活動の支援強化 ・健康の維持増進と交流を深めるための生涯スポーツ拠点の整備及び強化 ・ボトルネックの解消による拠点施設へのアクセス性の向上	図書館の図書貸出者数	単位:人/年	27,600人/年	H23	60,000人/年	H28	177,905人/年	H28
	子育て支援センターでの絵本読み聞かせ等実施回数	単位:回/年	0回/年	H23	12回/年	H28	12回/年	H28
	米田多目的広場の利用者数	単位:人/年	5,000人/年	H23	7,500人/年	H28	13,762人/年	H28

北部子育て支援センター




高砂市立図書館





米田多目的広場



○効果促進事業
北部子育て支援センター整備事業

○関連事業
学校図書購入

■基幹事業(道路/地方都市リノベーション事業)
今市・生石準幹線道路整備事業

○効果促進事業
米田多目的広場整備事業

○関連事業
高砂市新図書館図書購入

■基幹事業(地域生活基盤施設/地方都市リノベーション事業)
米田多目的広場整備事業

■基幹事業(地方都市リノベーション推進施設)
高砂市新図書館建設事業

まちの課題の変化

- ・本事業によって新図書館が整備された。本施設は生涯学習支援や地域活動支援の場として活用されており、多くの市民に利用されている。
- ・子育て支援センターへボランティアを派遣し、読み聞かせ会を実施している。これによって読書習慣の醸成に寄与している。
- ・新図書館の内部には郷土資料等を鑑賞できるスペースを設けるとともに名誉館長を配置し、郷土への愛着や誇りを高めることに寄与している。
- ・米田多目的広場の整備とあわせてコミュニティバスのバス停を整備した。これによって、図書館及び米田多目的広場へのアクセス性が向上した。
- ・米田多目的広場は本事業によって駐車場、トイレ、休憩スペース、フェンスの整備が行われた。こうしたアメニティの満足度は高い。
- ・今市・生石準幹線道路の整備により、総合運動公園と図書館・多目的広場とのアクセス性が高まって交通のボトルネックが解消された。
- ・廃園となった米田西幼稚園を子育て支援センターとして再整備したことで、空き施設の解消と子育て支援サービスの向上を同時に図った。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・現在実施している取り組みを引き続き実施することで、市民の生涯学習を支援していくと同時に、図書館ボランティアを育成することで、市民が地域活動へ参加することを促進する。
- ・また、今回の整備により書架の容量を大幅に増やすことができたので、今後も計画的に蔵書数を増やしていき、図書館の魅力向上に努めていく。

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
米田地区

平成29年4月

兵庫県高砂市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	図書館の図書貸出者数	人/年	27,600人/年	60,000人/年	177,905人/年	確定 見込み	●	○	あり なし	170,314人	H 29年 4月	○	<p>当初の予想を大幅に上回るペースで図書の貸出者数は伸びていき、8月には目標値を越え、最終的には目標値の3倍近くに達した。なお、見込み値(評価値)より若干少ないが、その誤差は5%以内であることから、事後評価を実施した時点での予想と同等の成果を挙げたと考えられる。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	スペースの増加によって蔵書数が増え、読書スペースや多目的利用のスペースも充実した。その結果、生涯学習や地域活動の機会が増大した。加えて、指定管理者制度の活用によって、開館日・開館時間が増加した。これらのことが、利用者が大幅増加した要因として考えられる。
指標2	子育て支援センターでの絵本読み聞かせ等実施回数	人/回	0回/年	12回/年	12回/年	確定 見込み	●	○	あり なし	12回/年	H 29年 4月	○	<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	持続的に図書館利用の促進を図るべく、若い世代の読書習慣醸成策の一環として絵本の読み聞かせ会を毎月1回定期的に行うことにした。利用者が多いことから、この取り組みは子育て支援策としても機能していると評価できる。
指標3	米田多目的広場の利用者数	人/年	5000人/年	7500人/年	13,762人/年	確定 見込み	●	○	あり なし		H 年 月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	広場の縮小にあたり各老人クラブが話し合ったことで、高齢者の利用頻度が変わらなかった。また、老人クラブと他団体との利用時間の分화가徹底されたことで、他団体の休日利用がしやすくなった。これらのことから、利用者数が増えたと考えられる。
指標4						確定 見込み			あり なし		H 年 月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	
指標5						確定 見込み			あり なし		H 年 月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み					H 年 月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	
その他の数値指標2					確定 見込み					H 年 月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	
その他の数値指標3					確定 見込み					H 年 月		<p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	施設利用者数を維持するための読書習慣醸成機会の創出	図書の購入 図書館ボランティア講座 セミナーの開催 絵本の読み聞かせ会	本事業によって蔵書数や読書スペース、多目的利用のスペースが増えた。また開館時間が伸びたことで、利用しやすくなった。これらのことが利用者の大幅な拡大に繋がったと考えられる。	平成29年度から3年間で蔵書数を20万冊まで増やしていく。同時に図書館ボランティアの育成や各種セミナーの開催、絵本の読み聞かせ会といったソフト施策を継続的に実施していくことで図書館のPRを行っていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	施設間連携による利便性の向上	関係課による協議 サービスポイントの増設(まちなか図書館サービス)	まちなか図書館サービスとして、市内8か所の公民館にサービスポイントを設置し、公民館で図書の検索、貸出、返却を行えるようにした。利用状況は公民館によって異なるが、利用者数の少ない公民館でも月100冊程度の取り扱いがある。図書館は市の東部に位置しているため、市西部の住民は東部の住民より図書館の利用がしづらい状況が懸念されたが、こうした施設間連携により図書館サービスにアクセスしやすい地域が広がったことで、図書館利用者の幅が広がったと分かる。	学校との連携を強化していくと同時に、サービスポイントの増設を図っていく。高齢化の進行に伴い、今後車の運転ができない世帯の増加が予想される中で、こうした取り組みにより施設のアクセシビリティを確保していく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項